

旭ヶ丘キリストの教会
主日礼拝順序
2026年1月11日

司会：千田俊昭
奏楽：千田祥子

黙 祷		一 同
讃 美※	聖 歌 5 3 8 「た だ 主 を」	一 同
主の祈り※	(聖歌表扉または讃美歌564番をご覧ください)	
讃 美	聖 歌 4 3 3 「悩 め る 人 々」	一 同
教会学校	絵本「ファーナーさんはみすてない」	牧 師
讃 美	聖 歌 150 「わ が 目 を 開 きて」	一 同
聖書朗読	使徒行伝20:17-24	
奨 励	使徒行伝の福音(第73回)	牧 師
主 題	「パウロの惜別説教①」	
讃 美	聖 歌 336 「いかに恐るべき」	一 同
献 金	献金と感謝の祈り	
聖 餐		
頌 栄※	聖 歌 376 「父、御子、御霊の」	一 同
祝 祷※		牧 師
来週の箇所	使徒行伝 20:28-38	

※印のところでは御起立下さい。

- ☆ はじめて集会においでの皆様。心から喜び、感謝してお迎え申し上げます。しかし、初めての方に無理な勧誘をするようなことは、一切いたしません。むしろ、そっとしておきたいと思うわけです。その態度を冷淡や不親切と誤解なさらないで下さい。
- ☆ 私たちは何派にも属さないキリスト個人個人の自由な交わりの教会です。聖書を学び、キリストに信頼し、キリストが与えてくださる神の義を何より大事にし、信じる者同志が兄弟姉妹として受け入れ合う群れです。
- ☆ 献金は神への感謝として、各自が自由意志で行うものです(2コリント9:7)。入り口に献金箱がありますので、どうぞご利用下さい。
- ☆ キリスト教について、あるいはどんな質問でも、いつでも遠慮なく牧師にご相談下さい。
- ☆ 第二礼拝後、軽食を用意してありますので、お時間のある方はどなたでも、ご自由にお召し上がり下さい。
- ☆ 二階に教会図書がありますので、どうぞご利用下さい。

旭ヶ丘キリストの教会 ニュース



〈今週の歩み〉

1/11(日) 聖日礼拝
/12(月) (成人の日)
/13(火)
/14(水) 13: 牧師 祈り会
/15(木) 8:30 OBS 升々 10: 聖研
/16(金) 10-12: OBS 75
/17(土) 13-16 子供オプンハウス



〈祈りの課題〉

- ① 家族の救いのために
- ② 礼拝に来れなかった人々のために
- ③ 教会学校の子供たちが救われますように

良書ハイライト

「人生の夢と希望」

(ささきみつお「つながり」No.180)より

「始活」の勧め

ある高齢者の男性キリスト・グループが情報を交換し合い、「終活」の準備をしているのを知り、少し違和感を覚えた。「終活」は今や社会人の常識であり、社会での活動や自分の所有物を整理し、死後の相続対策に備え、葬儀の方法、お墓の購入等について元気なうちに準備しておくことで、賢くかつ大切なことではある。

しかし、社会の第一線を退いた男性キリストは、子供たちも独立し、精神的にも時間的にも財政的にも余裕ができた頃である。今まで片手間にしかできなかった教会での奉仕や、未信者への伝道が、ようやく本格的にできる時期がきたのではないだろうか。これまでの聖書の学びと社会での体験を生かし、「終活」と同時に、神の働きを具体的に始める「始活」を計画するべきではないかと思う。「始活」の原動力は「希望」である。カレブは85歳にしてヘブロンを戦い取った(ヨシヤ14:10-14)。彼は早くから、将来ヘブロンを手にしたいという希望に燃えていたのである。

希望に生きる者は常に若い

哲学者・三木清の『人生ノート』(角川ソフィア文庫)に、「希望に生きる者は常に若い。いな、生命そのものが本質的に若さを意味している」という言葉がある。「生命」とは、生きる力(エネルギー:燃える力)である。「若さ」とは、生きる力に満ちていることであり、希望に生きる者は、生きる力に満ちていて常に若々しい。希望をもつと実際に心が燃えてくる。希望を持つ者の心に神の愛(いのち)が注がれているからである。

希望はいつまでも続く

「人生が夢をつくるんじゃない。夢が人生をつくるんだ。」(大谷翔平選手が高校生時代に書いた「人生の目標シート」の言葉の一つ)多くの人は、夢や希望がすぐに実現しないと失望して諦めてしまう。失望を恐れるあまり、「希望など持たないほうがよい」と言う人もいる。そもそも希望とは、「稀な望み」であるから、実現が難しいことが多いのである。自分の生きている間には実現しないかもしれない。それでも希望を持つことには大きな意味がある。神は「希望の神」であり、私たちが希望にあふれさせてくださる。「あなたがたのうちに働きかけて、その願いを起させ、かつ実現に至らせるのは神であって、それは神のよしとされることだからである」(ピリピ2:13)とあるように、夢や希望を下させるのは神であり、それを実現してくださるのも神である。だから「神はご自分の時に、ご自分の方法で、希望を実現してください」と信じるべきである。

「それだけではなく、患難をも喜んでいる。なぜなら、患難は忍耐を生み出し、忍耐は錬達を生み出し、錬達は希望を生み出すことを、知っているからである。そして、希望は希望に終ることはない。なぜなら、わたしたちに賜わっている聖霊によって、神の愛がわたしたちの心に注がれているからである。」(ローマ5:3-5)